

高知県内での小中学校統合の状況と通学時間について（県教委のしらべ）

地 区	内 容
幡多地区①町	・ 反対の主な意見として、「地域が寂れる」「規模が大きくなると学習面で不安」「保護者が複式経験者であるため複式のマイナスイメージがない」など。 ・ 10 名以下の学校が 6 校。耐震化の必要な校舎も 10 校中 8 校ある。 ・ 現在スクールバスは、6 路線で 1 路線増やす予定。 ・ <u>スクールバスの通学に関しては、遠方で 30 分前後と予想される。</u>
高幡地区②町	・ H24 年度に小学校 3 校を 1 校にする予定。 ・ 統合規模として 1 学年 20～25 人でないとだめ。 ・ スクールバスについては、統合する学校から一番遠い学校で 20 分強。 ・ 学校間の移動時間であるため、児童個々の家庭からはさらに時間がかかる。 <u>（M 地区から徒歩、スクールバスの利用で 1 時間程度）</u>
嶺北地区③町	・ H16 年から町長が、学校統合について小学校単位で説明会を行った。 ・ H21 年に小学校 5 校を 1 校に統合予定。 ・ 現在でも各学年 20 名程度で、嶺北地区では一番多い。 ・ <u>スクールバス通学については、一番遠方で自宅から 40 分程度と推測。</u> ・ <u>通学時間の目安は、1 時間以内を考えている。</u>
嶺北地区④町	・ H21.4 に小学校 3 校→1 校、中学校 2 校→1 校にする予定。 ・ 配置については現在未定。地域住民との話し合いで教委が決定して欲しいとの声が多い。そのため<u>統合時の通学時間は現在算出できていない。</u> ・ 毎回統合の話が出ているが、将来に向けて今回が最後の統合であると住民説明を行っている。 ・ 地域が寂れるという声もあるが、子どもたち第一に考えて動いていると説明。統合については、おおむね了解をもらっている。 ・ これから学校の位置を決めて説明にまわる。 ・ 首長とも意見書を交わし、首長が統合の最終決定を行うことになっている。

◎生活学習習慣と通学時間について

(参考資料)

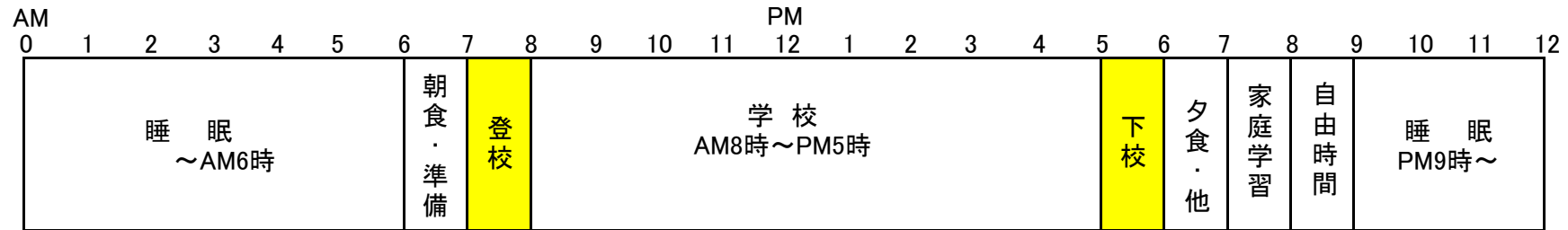
基礎学力定着度調査

子どもの学びの慣習化【学習習慣・生活習慣の確立】(長崎県学力向上推進協議会)

○小学生

睡眠時間 8～9時間(低学年 9時間)

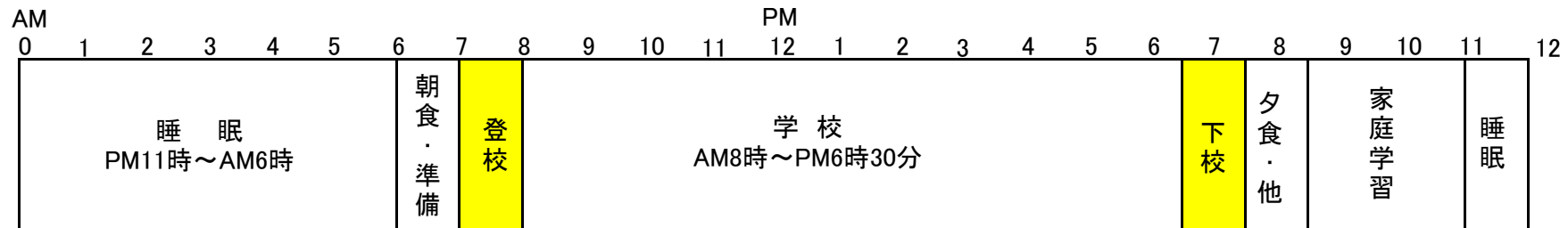
家庭学習 1～2時間



○中学生

睡眠時間 6～8時間(7時間)

家庭学習 2～3時間(中1～2年 2時間30分)



学力の定着には、家庭での規則正しい生活習慣の確立が必要である。家庭において規則正しい生活習慣化のためには、上記表の各項目に対して一定の時間が必要である。

そのため、学校での教育活動と家庭での規則正しい生活習慣を身に付けるために通学に当てる時間には限度がある。

適正な生活習慣と学習習慣を確保するために通学にあてる時間

→ 全学年 片道 1時間以内